

★交通・防犯「ながら見守りパトロール」発足

肝付地区安全運転管理協議会は、「ながら見守りパトロール」を結成し、令和5年12月13日（水）、肝付地区交通安全協会の2階において、発足式を行いました。「ながら見守りパトロール」とは、日頃から交通事故防止活動に対する意識の高い安全運転管理者選任事業所の職員の方々が、業務中に「ながら見守り活動」を行うことで、交通安全と防犯、両方の視点から子どもや高齢者の安全を守ることを目的としています。

発足式では、代表事業所3社と肝付町役場、東串良町役場が参加し、参加者らは、肝付地区安全運転管理協議会会長から協力事業所認定証と同協議会で作成したマグネットシートを受け取り、早速、社用車にマグネットシートを貼り付け、パトロールに出発しました。

マグネットシートは、肝付地区管内の80事業所に配付しており、今後、事業所のほか、管内の地域ごとに「ながら見守り活動」による子どもと高齢者を対象とした安全・安心の輪が大きく広がることが期待されます。

事業所の参加者からは「仕事で車を走らせることが多いため、事故防止はもちろん、登下校時の子ども達にも気を配りたい。」との声が聞かれました。



★生徒の安全をサポート

肝付地区防犯協会では、令和6年1月11日（木）高山中学校正門前において、朝の立哨と挨拶運動を実施しました。

高山中学校では、先生、生徒が交代で毎朝あいさつ運動を行っています。当日も寒の中朝早く、先生方が生徒達に元気よく声をかけ、生徒の皆さんも大きな声で挨拶をしていました 😊

子ども達が事件・事故に遭わないよう、引き続き皆さまの御支援と御協力をお願いいたします。

